

布引だより



令和4年9月20日

No.7



一人ひとりがキラリ輝く布引の子 ~

布引小学校ブログもご覧ください→

<http://www.z.higashiomi.ed.jp/nunosyo/>

ハッピーコンサート

朝夕の心地よい風に、秋の訪れを感じる時期となりました。先日校庭を子どもとともに歩いていると、どこからともなく、ブドウのような香りがしました。そこら中でこの香りがします。「何のにおいかな」と子どもと付近を探索してみると、ありました。紫の花がちらほら咲いています。試しに一つ摘んで香りを嗅いでみました。確かに、ブドウのような甘い香りがします。調べてみ



ました。習ったばかりの鍵盤ハーモニカも上手な指使いで弾けました。2年生の歌「あの青い空のように」はとてもきれいな歌声でした。みんながこの歌が大好きで、気持ちよく声を出していることがよくわかりました。こいぬのマーチは、たくさんの楽器のリズムがぴったりと合って練習の成果が出ていました。3年生の歌「勇気100%」では、全員

が先生の指揮をしっかり見て真剣に歌っている姿が印象的でした。「ヘイヘイ」という掛け声も1回目、2回目、3回目とだんだん声が大きくなっていき、曲に乗っていることがわかりました。リコーダー奏「パニック」ではリコーダーを学習し始めたばかりとは思えないきれいな音色でした。一人ひとりがタンギングに気を付けていることがよくわかりました。4年生の歌「いろんな木の実」はたくさんの人が体でリズムをとっていました。途中から自然に体が揺れている子もいて、楽しいリズムが聞いている人にも伝わりました。合奏はた



くさんの楽器の息がぴったり合っていました。特に打楽器のリズムがよく取れていたのが全体のリズムが合いやすかったのだと思います。5年生の歌「ありがとうの花」はとても美しい歌声でした。一人ひとりが歌詞の意味を大事にして丁寧に歌っているのがよくわかりました。合奏「キリマンジャロ」は大迫力でした。音を鳴らすところ、鳴らさないところの切り替えがス

パッとできていたことで、より大きな迫力を感じました。6年生の合唱「ツバメ」は、さすが自分たちで選んだ曲だけあり、言葉の意味をかみしめて歌っていることが伝わってきました。合奏「木星」はゆっくり、丁寧に音を出さなければならない曲ですが、それぞれ自分のパートの音をしっかり出せていて、雄大な曲のよさを表現することができていました。退場するとき、子どもたちに声をかけていたのですが、どの学年もとても満足そうな顔でした。がんばったことが認められることはとてもうれしいことだと思います。